



対話で高める「聴く」「聞く」スキル

遅くなり
すみません！

休校期間が終了し、本格的な学習活動が始まったばかりで、なかなかソーシャルスキルまで、手が回らない～！(>_<)というのが現状ですね。そこで6月は、わずかな時間で児童間の対話の中で聴き方のスキルを意識させる簡単な取組を紹介します。

1～3年生は、まだ友達の評価をすることは難しいので自己評価、4～6年生は、自己評価と友達間での評価をする活動になっています。紹介した通り必ず取り組んで欲しいということではありません。使える部分を切り取って活動に生かしていただければと思います。

Focus 聴き方チャレンジ&聴き方インタビュー

1. 教示⇒わかる

①聞き方のポイントを確認する

「いま子どもたちに育てたい
学級ソーシャルスキル」
(図書文化) より



	低 学 年	中 学 年	高 学 年
めあて	1年：相手の方を見て、手あそびしないで、最後まできく。 2年：(1年生のめあて+) うなずき、あいづちしながら聞き、質問をする。	相手を見ながら、最後まで聞く	相手が話しやすく、真剣に聞いていることが伝わるように聞く
基本レベル	①話す人を見る ②手あそびをしない ③最後まできく	①話す人に体を向ける ②話す人の顔を見る ③よそ見や手あそびをしない ④話が終わるまで口をはさまないできく	①話す人に体を向けて顔を見る ②よそ見や手あそびをしない ③話が終わるまで口をはさまないできく ④最後に質問や感想をつけたす
達人レベル	⑤うなずく ⑥あいづちをうつ ⑦質問をする	⑤うなずく ⑥あいづちをうつ ⑦最後に質問や感想を言う	⑤タイミングよくうなずく ⑥タイミングよくあいづちをうつ ⑦相手が話しやすい態度をとる

👉 NPU の中や話し合い活動のしかたの学習の中で児童から出てきたポイントでも良いのですが、「聴く」「聞く」トレーニングに重点を置くのであれば、教師側で提示する方が効果的ですし、学年・学校として同じ方向を向いて行けるのではないかと思います。

裏に続きます



②チャレンジのしかたと評価のしかたを知る

	1～3年生	4～6年生
チャレンジ	上手な聞き方に取り組む時間の中でチャレンジする。 ＊朝帰りの会のスピーチ、国語の話す・聞くの学習、読み聞かせの時間など短時間で全員が聞く体験ができる内容で	ペアになり、時間とテーマを決め、交代で話をしながら、聞き方の練習をする。 ＊私の宝物、今ハマっているもの、好きなアメなど聞き手の聞き方の評価を話し手ができるように、メモを見なくても話せる内容で
評価	めあてができたかどうか自分で評価しワークシートに記入する（時間がない時は挙手だけでもOK）	聞き方のポイント①～④を自己評価し、⑤～⑦は友達に自分の聞き方はどうだったかを聞き、ワークシートに記入する（時間がない時は挙手だけの評価やポイントを絞らず大まかな相互評価でもOK）

2. モデリング（教師主導で良い例・悪い例を見せる）

3. ロールプレイ⇒**できる**（やってみよう！気がついたことはあった？）

できれば、1日だけでなく期間を決め、続けてトレーニングすることで、力がつきます。

